

おおだて

2025.8 **82**号



<http://hojinkai.zenkokuhojinkai.or.jp/oodate/>

夜空に大輪

市民の熱意で継続開催

北秋田・米代川花火大会

北秋田市の第33回米代川花火開会が7月5日夜、同市鷹巣の米代川河川緑地で行われました。昨年は資金難や運営の人材不足などから、いったん中止が決定されましたが、市民の熱意で秋に開催。今年は地元の若手が早くから準備を進め2年ぶりに夏の開催となりました。スターマインなど約2500発が夜空を彩り、大勢の観客を楽しませました。

同市のホームページによると、県内の花火大会では、「大曲」「能代」に次ぐ3番目の規模で、夏の花火大会では最も早く開催されることで知られています。開催

2年ぶりの夏 2500発彩る

を危ぶむ声もありましたが、今年は実行委員会(中嶋友規委員長)が例年通りの夏開催を目指し準備を進めてきました。

午後7時30分に大スターマイン「天空のフラワーガーデン」で開幕。4号玉15連発、5号玉10連発、特大スターマインなど約2500発が1時間にわたって打ち上げられ、市内外から訪れた大勢の人たちが夜空に咲く大輪を楽しみました。実行委員会は「終わりがけた大会を多くの支援や協力で開催できたことをうれしく思います。今後規模を大きくして続けていきたい」と話していました。

市民の熱意で2年ぶりに夏の開催となった米代川花火大会(写真・協力・北鹿新聞社)



役員を改選、竹村会長を再任 新制度の適用で外部監事を選任

回 会 長



竹村 雅行
大 館(再)
(大館ヤクルト販売 会長)

口 副 会 長



浅利 滋
鹿 角(再)
(浅利佐助商店 社長)



藤岡 茂憲
北秋田(再)
(藤岡農産 会長)



吉原 秀吉
大 館(再)
(吉原鉄工 会長)



米村 茂
鹿 角(再)
(米村組 社長)



山脇 精悦
大 館(新)
(タイセイ 社長)

口 監 事

蒔苗 大輔 大 館(再)
(清 和)

高橋 健一 鹿 角(再)
(鹿角エヌ・シー・エル)

口 外部監事

三浦 仁 (新)
(大館青色申告会)

口 専務理事

川田 正典 (再)
(大館法人会)

大館法人会の令和7年度(第14回、通算第46回)定時総会は6月6日、大館市有浦のプラザ杉の子で開かれました。6年度決算が承認されたほか、役員改選で新しい理事が選出され、引き続き開かれた理事会で竹村雅行会長(大館ヤクルト販売会長)が再任されました。

新年度は透明性とガバナンスの向上、民間公益の活性化を目的に、16年ぶりに改正された新公益法人制度が適用されます。これに伴い外部監事の導入が義務付けられ、大館青色申告会の三浦仁会長が選任されました。また、近年の会員数減少と県内の同規模単位の動向を踏まえ、理事数の見直しも行われました。

理事会で承認した事業計画によると、新設法人説明会や「大人の租税教室」、「税に関する絵はがきコンクール」、一般市民を対象にした講演会、小中学生の租税教室を予定しています。特に租税教室つ



事業計画の報告や決算、役員改選などを承認した定時総会

いては、来賓の石田健佑大館市長が「子どもたちが税に関する正しい知識を得るため重要な役割を果たしている」と活動を高く評価していました。席上、退任した鈴木稔常任理事、八重樫學理事に感謝状が贈られました。

口 常任理事

後藤 雅巳 (伊徳)
安達 諭 (大館桂工業)
石川 崇 (割烹きらく)
佐藤 邦治 (丸佐運送)
多田 祥茂 (北上石灰)
石垣 晋一 (北部地研)
小坂橋広吉 (小坂橋建設)
米倉 章 (米倉石油)
佐藤 康弘 (佐藤乳販)
宮越 匡 (北鹿新聞社)

口 理 事

小笠原愼一 (伊藤会計情報センター)
笹本 直人 (エコシステム花岡)

米澤 正貴 (米沢屋呉服店)
三浦 功達 (三浦木材)
渡辺 伸一 (北秋商事)
高谷 秀和 (タカヤ)
畠山 佑介 (ハタリキ)
佐藤 弘毅 (新東組)
柳館 清典 (茅茹荘)
奥村健一郎 (奥村電気工事)
高瀬 潤 (ユゼ)
大里 恒明 (大里恒三商店)
柳澤 康隆 (柳澤鉄工)
三浦 武 (米内沢中央印刷)
藤本 学 (フジモト)
高坂 卓 (高坂)

新公益法人制度が施行されました

今回の法律一部改正の中で、大館法人会が適用になったのは「自律的なガバナンスの充実、透明性の向上」のうち外部監査の導入となります。ほかの項目については今後、理事会などで検討し見直しを進めていきます。

公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の一部を改正する法律の概要

趣 旨

- 公益法人は、民間公益を担う主体として大きな潜在力を有しているが（法人数9700、職員数約29万人、公益目的事業費年間5兆円、総資産31兆円）、現行制度の財務規律や手続の下では、その潜在力を発揮しにくいとの声。
- このため、①財務規律等を見直し、法人の経営判断で社会的課題への機動的な取組を可能にするとともに、②法人自らの透明性向上やガバナンス充実に向けた取組を促し、国民からの信頼・支援を得やすくすることにより、より使いやすい制度へと見直しを行い、民間公益の活性化を図る。

概 要

1. 財務規律の柔軟化・明確化

- 収支相償原則（費用を超える収入を得てはならない）を見直し、中期的期間（内閣府令で定める期間）で収支の均衡を図る趣旨を明確化。
- 将来の公益目的事業を充実させるための資金を規定（積立ては費用とみなす）。
- 「遊休財産」の名称を「使途不特定財産」に変更。
- 公益目的事業継続予備財産（災害等の予見し難い事由に対応し、公益目的事業を継続するために必要となる公益目的事業財産）をその保有制限の算定対象から除外するとともに、同財産の保有について理由の公表を義務付け。

2. 行政手続の簡素化・合理化

- 収益事業等の内容の変更について、認定事項から届出事項に見直し。

3. 自律的なガバナンスの充実、透明性の向上

- わかりやすい財務情報開示のため、公益法人に3区分経理（公益目的事業、収益事業等、法人運営）を原則義務付け。
- 公益認定の基準として、①理事・監事間の特別利害関係の排除及び②外部理事・監事の導入を追加。併せて、公益法人は、事業報告に適正な運営の確保のため必要な事項（ガバナンス充実に向けた自主的な取組等）を記載することとする。
- 公益法人の責務として、ガバナンスの充実や透明性の向上を図るよう努めるべき旨を規定。併せて、国の責務として、情報収集・提供等の公益法人の取組の支援を行う旨を規定。

効 果

公益法人が、その潜在力を最大限に発揮して、多様で変化の激しい社会のニーズに柔軟に対応しつつ、社会的課題解決に向けた活動を担うことが可能に

租税教室の講師に女性部会が協力 子どもたちに税の大切さを伝える



今年から女性部会も協力して進められた租税教室
(大館市の釈迦内小学校で)

子どもたちに税金の大切さを伝える租税教室が今年も始まりました。これまでは大館法人会青年部会のメンバーが講師を務めていましたが、今年から女性部会も協力し小学校を訪問しました。

教室は大館・北鹿租税教育推進協議会の主催で、青年部会が主要事業として毎年協力しています。今年は5月8日の大館市立扇田小学校からスタート。これまでに18校で実施してきました。今年から講師陣に加わった女性部会からは、小畑良子部会長、長田陽子副部会長、石川直美理事が参加し教壇に立ちました。

法人会の「先生」たちは、日本の約50種類の税金を組み合わせて、さまざまな立場の人に公平に負担してもらっていると、ごみの収集や道路の補修など「私たちの身近で快適、豊かな暮らしに使われている」と仕組みや必要性を伝えました。

本年度は小中高38校で実施 北鹿推進協議会、拡大呼びかけ

大館・北鹿租税教育推進協議会(会長・長岐公二大館市教育長)は5月、大館税務署で定期総会を開き、租税教室や税に関する児童生徒の作品募集の支援など本年度の事業計画を決めました。

北鹿5市町村の教育、税務関係団体で組織する団体で、長岐会長は「地区内の租税教育の充実が期待されています」とあいさつ。特に租税教室については小学校に比べて中学校、高校の開催校が少ない現状に触れ、「実施校の拡大を働きかけていきたい」と協力を呼びかけました。

なぜ税金が必要かを解説したアニメの鑑賞や1億円の札束のレプリカを持ってもらったりとわかりやすい内容に、子どもたちからは「税金がいろいろなところで役立っていることがわかりました」と感想がありました。

租税教室実施校と講師陣

(役職は前年度)

- ◎扇田小学校……………土館一弘部会員
- ◎綴子小学校……………松橋史尚部会長
- ◎柴平小学校……………浅利晋一郎部会員、奈良大氣部会員
- ◎早口小学校……………川田正典専務理事
- ◎桂城小学校……………近藤航部会員
- ◎有浦小学校……………虻川洋行幹事、山崎正和部会員
- ◎大館南小学校……………小畑正寿幹事
- ◎釈迦内小学校……………土館一弘部会員、石川直美理事
- ◎矢立小学校……………川田正典専務理事
- ◎川口小学校……………小畑良子部会長、長田陽子副部会長、石川直美理事
- ◎花輪小学校……………山崎正和部会員、安保大介部会員、奈良大氣部会員
- ◎西館小学校……………小畑正寿幹事、土館一弘部会員
- ◎上川沿小学校……………虻川洋行幹事
- ◎鷹巣東小学校……………佐々木桃子幹事
- ◎山瀬小学校……………近藤航部会員
- ◎長木小学校……………三浦功達副部会長
- ◎成章小学校……………三浦功達副部会長、石川直美理事
- ◎東館小学校……………川田正典専務理事

事業計画では▽租税教室の開催▽租税教育副教材の配布▽税に関する作品募集の支援▽大人の租税教室開催などを盛り込みました。本年度の租税教室は前年度から3校増え、小中高38校で予定しています。



租税教室の充実や拡大を呼びかけた協議会(大館税務署で)

地域のデジタル化とキャッシュレス化を 経理業務の効率化で営業活動に注力

7月の国税庁異動で、大館税務署長に^{あきら}對馬亨氏(54)が着任しました。青森市出身で、主に東北地方で勤務しましたが、本県は初めてとのこと。プライベートを含め、新天地で取り組みたいことなどをうかがいました。

Q.経歴を教えてください。

青森東高校を卒業し、税務大学校札幌、仙台両研修所を経て酒田、水沢、十和田、大船渡など東北各署、仙台国税局、関東信越国税局管内の館林署(群馬県)などに勤務しました。個人課税部門が長いです。

Q.思い出深い業務は。

2013年7月から2年間、大船渡に勤務しました。東日本大震災で被災した土地をかき上げる際、市町村が土地を買い取る際に、譲渡所得が発生するため、震災による雑損失を損益通算することになります。被災納税者にとっては複雑な計算に頭を悩ませ

ることがなく、正しい申告ができるよう大船渡市、陸前高田市と連携してさまざまな取り組みを実施しました。対象件数は3000件以上で、ケタ違いの多さでした。

同時に、震災特需業者への本来の調査業務も行うこととなります。被災者対応で精神面にプレッシャーを感じ、気持ちの切り替えが大変でした。無意識に涙が流れていることもありました。

Q.秋田や大館の印象は。

秋田県は人口減少が進んだように感じています。大館市は家族と訪れたことが何度もあり、自然が多い印象です。滝や温泉がたくさんあるので巡ってみたいですね。鉱山で栄えた街ですので、鉱山の歴史にも関心があります。

Q.取り組んでみたいことは。

地域企業のデジタル化とキャッシュレス化を普及したいと思います。人手不足を補い、企業の経理業務を大幅に効率化でき、その分、営業活動に注力できるようになります。関係団体といろいろな取り組みができればいいですね。

Q.家族構成は。

青森県八戸市の自宅で両親、妻が暮らします。長男、長女は県外です。

Q.趣味は。

スポーツ全般です。小中高校は10年間、野球をしていました。冬はアルペンスキーを楽しんでいます。全国の御城印や御朱印も集めています。

新しい大館税務署長に對馬亨氏が着任しました



大館税務署 定期人事異動 (7月10日付)

	新 任 役 職	前 任 役 職	氏 名
転入	大館税務署長	仙台国税局総務部税理士監理官	對馬 亨
	徴収上席	国税局徴収部催告センター徴収官	吉住 智未
	総務係長	青森署法人四調査官	小野 彰吾
	管理運営上席	弘前署管理運営上席	栗林 知大
	個人調査官	弘前署個人二調査官	高崎 杏香
	個人上席	八戸署資産上席	佐藤 真也
	管理運営上席	秋田北署管・徴上席	大下 和幸
	法人調査官	大館署法人	山谷 菜月
	総務課長	長井署総務課長	小泉 毅
転出	個人二統括官免兼郡山個人一統括上席	郡山署個人連絡調整官兼郡山署個人一統括上席	久保 敦
	仙台国税局課二酒税課長補佐	大館署総務課長	菅原 英樹
	秋田南署個人調査官	大館署総務係長	北林 和彦
	むつ署総務上席	大館署管理運営上席	天野 明
	仙台国税局総務業セ盛岡管理官	大館署管理運営上席	兎澤 純美
	郡山署資産上席	大館署個人一上席	鈴木 伸
	弘前署個人二統括官	大館署個人二統括官	佐藤 政幸
	仙台北署個人調査官	大館署個人二調査官	井口 葉月
	仙台中署特別国税調査官開発調査調査官	大館署個人二調査官	田代 歩

青年部会	部会長	大館市青果魚類卸売	土館 一弘
	副部会長	三浦木材	三浦 功達
	〃	柳澤鉄工所	柳澤 康隆
	〃	マルカ金澤商店	佐々木桃子
	幹事	保険ビルド北東北支社	武田 喜胤
	〃	花ドーム	虻川 洋行
	〃	工藤米治商店	小畑 正寿
	〃	釈迦内の車屋さん	杉渕 孝義
	〃	柳沢建設	柳沢 義生
	〃	菅原電気	菅原 史明
	〃	フジモト	藤本 学
	相談役	大館製作所	中田 直文
	〃	北上石灰	多田 祥茂
	〃	小坂橋建設	小坂橋広吉
	〃	タイセイ	山脇 精悦
	〃	丸佐運送	佐藤 邦治
	〃	タカヤ	高谷 秀和

令和7、8年度の 部会構成が決まりました

女性部会	部会長	しんこや	小畑 良子
	副部会長	柳澤鉄工所	柳澤 知子
	〃	大館ヤクルト販売	長田 陽子
	〃	マルカ金澤商店	佐々木尚子
	〃	トリトンハウス	鳥湯 文子
	理事	北秋生コン	加賀谷正子
	〃	O G U R A	小倉可奈子
	〃	(有)阿二清掃興業	佐藤枝梨子
	〃	石垣鐵工	石垣 昌子
	〃	北秋クリーンサービス	石川 直美
	〃	でんろく	麓 幸子
	〃	北秋くらぶ	石川美歌子
	〃	芳賀工務店	佐藤 洋子



新入社員研修で感じた 「今どきの若者」の傾向と対策

株式会社ジェイック HRドクター編集長 古庄 拓

私が所属するジェイックでは、毎年数百人を超える各社の新入社員に研修を実施しています。その中で感じた「今どきの若者」の傾向と対策のヒントを紹介するので、20代の新人や従業員が在籍している、または採用を検討している企業の方は、ぜひご一読ください。

まず感じるのは、会社へのロイヤリティの低下です。終身雇用と年功序列が崩れ、転職が当たり前となった中で、会社は「報酬をもらい成長するための場」であり、「一生この会社にいる」という考えは少数派です。「すぐ辞めたがる」「全力を出さない」という意味ではなく、「成長できるか?」「時間・苦労と報酬が見合っているか?」を冷静に見ているということです。今の若手社員は、日本経済に右肩上がりの希望が少ないからこそ、安定志向が強くなっています。ただし、「安定」の定義が昔と変わっています。彼らが望む安定とは自分の市場価値が高まることを意味し、成長意欲と結びついています。会社の安定や業績、今の待遇よりも「自分が成長できるか」「市場で通用するスキルが身につくか」「待遇や年収が将来どうなるか」という見込みを大切にしているので、指導や採用時には「この仕事でどんなスキルが身につくか」「市場でどう通用するのか」を明確に伝えることが有効です。例えば、「資格とこの経験を積みれば市場価値が高まる」といった形で、経験と成長が「武器」になることを伝え、意欲や定着率の向上につながります。

次に、積極的な対人関係には慣れていないが、人間関係を拒むわけではないことです。時代の変化に伴って、「文句を言わずに言うことを聞け」「年上だから敬意

を払え」といった人間関係は明確に嫌われます。またコロナ禍の影響で、リアルコミュニケーションの機会が減り、上司や先輩に自分から話しかける若者は減っています。一方で、自己成長(≒安定)のためにダメ出しやフィードバックで関わってくれる上司や先輩は、若手に望まれています。大切なのは上から目線ではなく、対話の姿勢でフィードバックを行うことです。「ここは〇〇〇だから、こうした方が良い」と理由と修正点を伝え「なぜそうしたか?」など相手の気持ちを聞く、寄り添う一言を添えるとよいでしょう。

また、「タイパ(タイムパフォーマンス)」志向であることも忘れてはいけません。YouTubeやSNS、生成AI等で(彼らの主観では)効率的な情報取得に慣れており、時間の無駄を避ける傾向にあります。したがって、「私が若いころは…」「今は楽になったけど…」等の長々しい説教やフィードバックは逆効果です。気持ちに寄り添う一言を添えつつも、合理的かつ端的に伝えることが重要です。

今の若手社員は、「帰属意識」や「上下関係」を強要されると離れますが、「個」として尊重されれば進んで関わろうとします。誠実で筋が通った説明にはきちんと応えてくれます。「うちの会社はこうだから」「昔はこうだった」等の説明では動かないのも彼らなりの真面目さです。育てる覚悟と向き合う姿勢があれば、きっと応えてくれるでしょう。

【筆者紹介】古庄 拓(ふるしょう・たく) 1983年生まれ。慶應義塾大学卒業後、株式会社ジェイックに入社。社員研修やリーダー研修、新卒採用など、複数のサービスや事業の立ち上げを担当し、執行役員・取締役等を歴任。現在は、採用と社員教育の情報を発信するメディア「HRドクター」編集長として知識・ノウハウを発信している。



活発な租税教室、部会員のやりがい 若手経営者の団体として存在価値を

会報をご覧の皆さん、はじめまして(もしくはいつもお世話になっております!)

この度青年部部会長の任を拝命いたしました土館一弘と申します。若輩の身ではありますが、諸先輩各位のご指導ご鞭撻をいただければ幸いです。

花輪出身45歳、社長業5年目

簡単に自己紹介を。出身は鹿角市花輪で現在45歳。現在は大館市で公設卸売市場の運営、物流会社、冷凍庫保管業の3つの会社の代表取締役をしております。社員の頑張りとお客様とのお縁のおかげでありがたいことに社長業も5年目に入りました。

法人会理念の実戦部隊

さて、大館法人会青年部会の活動について少しお話させていただきます。青年部会は法人会の理念「税の普及と企業の健全な発展」を体現する実働部隊として、主に小学校における「租税教室」をメインに活動しております。活動範囲内である大館市・鹿角市(郡)・北秋田市(郡)のそれぞれの小学校において部会員が交代で担当し、「税が暮らしにどのように役立っているか」をお話しします。教室の人数は5人の学級から100人近い学年全体まで様々ですが、どの学校も生徒さんが真剣に聴いて、質問タイムでも活発な意見が飛び交います。税を身近なものとして理解してくれることが、我々部会員のやりがいといえると思います。

子どもたちとのかかわりに喜び

昨今ニュースで減税や税制の在り方などが話題になっていることが多いですが、税制の正しい在り方、使い方というのは確実な正解というものはありません。それは本来国民の間で議論して方向性を決めていくというのが筋であると考えます。そういった意味では子どものうちから社会全体に興



味を持ってもらい、将来主権者として投票に行くようになってもらいたい、そのような想いを込めて毎回授業の場に立たせていただいております。これからの地域を担う青少年の健全な発達にかかわれることは何よりもの喜びと感じますね。

部会員の交流深める行事を企画したい

またそれぞれの地域で活動している若手経営者の団体として季節ごとの交流会や県の研修会、全国青年の集いへの積極的な参加など部会員同士の交流を深める行事も追々企画していく予定です。参加してメリットのある団体、交流が楽しくなる団体として地域での存在価値を高めていくことがこれからの目標です。

地域貢献と交流する仲間を募る

青年部会では常に新しい仲間を募集しております。部会員は30代～40代が中心です。交流という意義でも地域貢献という意義でも大変やりがいのある会であると思っております。お近くに候補者がいらっしゃるときはぜひ近くの部会員や事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。

新しい青年部部会長に土館一弘さんが選任されました

税金の豆知識

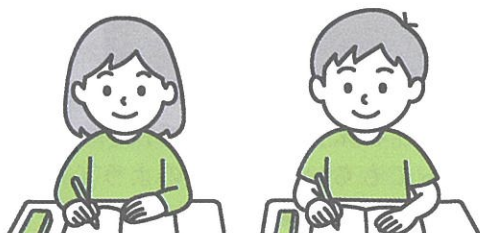


税という仕組みが整備されたのはいつ？



魏志倭人伝の記録によると、3世紀の初め、女王卑弥呼が支配する邪馬台国では、種もみや絹織物を貢物として納めていたそうで、これが税の始まりといわれています。

飛鳥時代行われた大化の改新(西暦645年)では、公地公民(土地や人民を国家のものとする)など、新しい政治の方針が示され、西暦701年に完成した大宝律令では租・庸・調という税や労役をかける税の仕組みができました。



※このコーナーは小学生の租税教室で出された質問と税務署の答えを基に作成しています。



大館法人会の関係者も表彰された
秋田県法人会連合会の総会(秋田市で)

竹村会長らに功労者表彰 秋田市で県法人会連合会の総会

秋田県法人会連合会の定時総会が6月12日、秋田市のホテルメトロポリタンで開かれました。2024年度の事業報告や決算を承認したほか、席上、大館法人会の役員ら功労者の表彰と伝達が行われました。

大館法人会関係で表彰を受けたのは、県連の副会長として竹村雅行会長、石川崇常任理事、三浦武理事、宮越匡理事、事務局の中山照美主任。福利厚生制度を推進したアフラック生命保険秋田支社代理店の秋北観光(大館市)、乳安商事(同)も表彰を受けました。また全国法人会総連合と東北6県法人会連合会の役職員功労者表彰も伝達されました。

任期満了に伴う役員改選で理事26人、監事2人が選出され、引き続き開かれた理事会で新会長に石黒寿佐夫・秋田南法人会長、副会長に竹村氏(大館法人会)が選ばれました。

大館で第1回市民音楽祭&クラフト市 8月24日・ほくしか鹿鳴ホールで

大館法人会が協賛する大館市の第1回市民音楽祭&クラフト市が8月24日(日)午前9時から、ほくしか鹿鳴ホールで開かれます。ウクレレやバイオリンのほか合唱のステージが繰り広げられるほか、ハンドメイド作家による手作り雑貨やアクセサリ作品が並ぶ予定です。

市内外で活躍する奏者や団体を迎えジャンルや世代を超えて音楽を楽しもうという初めてのイベントです。地域

のにぎわい創出にもつなげようと、併せてクラフト市も開催されます。午前10時からウクレレ奏者・鈴木昭寿氏によるコンサートとワークショップ、午後1時からはハナミズキ室内合奏団と松田鉄雄バイオリンクラブによる演奏会、同3時半からは大館市内のサークルによる合唱祭があります。

屋外で行われるクラフト市には、キッチンカーの出店も予定されています。入場は無料。お問い合わせは
ほくしか鹿鳴ホール TEL0186-49-7066まで

あ と が き

「令和のコメ騒動」はトップニュースとなることなくなくなりました。収まったわけではなさそうですが、本県ははじめ産地では、そもそもの騒動の見方、感じ方が違っていてもいいのではないのでしょうか▼「コメは買ったことがない」と言って問題となった大臣がいましたが、農家でもないのに本当に買ったことがない人は、結構いるようです。今年3月、公益社団法人・米穀安定供給確保対策機構が全国調査したところ、「縁故米」として親戚や農家の友人知人から無償で入手している割合が13.3%だったそうです▼さらにコメど

ろ新潟の新聞社が5月に調べたところ、有償を含めた縁故米で入手している世帯は3割を超えたそうです。有償とはいえスーパーなどの価格よりは相当安いのではと、推察していました。本県も新潟と同じような状況でしょう▼筆者の周囲にも相当数いる縁故米の恩恵を受けている人たちの心配は、「今年も今までのように譲ってもらえるか」だそうです。「これだけ問題となっているのだから、さすがに無償は頼みにくい」という人もいます。コメどころで高騰の影響は、今年の秋が本番?でしょうか。